

7月4日(土)午後2時 OB・OG感謝デー 高津高校に集まろう!



OB・OG戦 この勇姿を御覧下さい!



近畿大会
開会式!



祝 高津高校女子ハンドボール部近畿大会出場
高津高校ハンドボール部OB・OG会

昨年、大阪府立高津高校創立90周年に現役女子ハンドボール部がインターハイ大阪府予選大会において、堂々の大阪府5位入賞を果たし、大きな夢であった『近畿高等学校ハンドボール選手権大会』へ出場しました。詳細をOB・OG会のホームページ“<http://kozu.handball.iinaa.net/>”にてご覧ください。kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛に御芳名と卒業期をご連絡頂ければ、現役の活躍をメールにてお知らせ致します。また、<http://kozu-hand.blogspot.com> OB・OG会のブログへ皆様の思い出をご投稿ください。

皆様の御支援に感謝申し上げます、7月4日(土)午後2時~5時、高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

- 皆さん、久しぶりに現役とのゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 年配の方々には現役との混成チームでゲームを楽しんでもらう他、7mスロー大会など体に優しく・楽しい催しを企画しています!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 子供さんは現役が面倒を見ますので、ご家族でご参加ください。
- 体育館が使用できないため、雨天中止とさせていただきます。

総会・懇親会は、7月4日、6時、高津ガーデン(8階たかつ西)で開催します。

近鉄 上本町駅 北東へ徒歩3分 TEL 06-6768-3911 (天王寺区東高津町7-11)

2008年度 決算

2008/04/01~2009/03/31

繰越金収入	2007年度 繰越金	223,115
年会費収入	3000×81名	243,000
寄付金収入		154,000
総会費収入	7000×47名	329,000
総会費	2008年総会会場払	▲327,054
現役補助費	ユニフォーム等購入	▲313,649
会報費	印刷・発送費等	▲71,575
通信費	はがき 切手他	▲113,800
事務消耗費	用紙等事務用品	▲9,430
雑費	振込手数料,壮行祝等	▲5,400
雑収入	銀行利息	59
差引残高	次年度繰越	108,266

会費納入・寄付金のお願い!

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2009年度 会費 3000円
又は 寄付金を納入して頂く方へ

同封の郵便振替用紙を使用頂くか
銀行振込をお願いします

2009年度
会費納入
郵便振替
用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金NO.3999316口座名
「高津高校高校ハンドボール部
OBOG会」

【振込人名】には卒業年度と
カイヒor キフを付記ください
※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ
カイヒor キフ」

【事務局】〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8
千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内
川上貴司
Tel.06-6213-1901
Fax.06-6213-4903
E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

<p>【会長】 川上貴司 (高19期)</p> <p>【副会長】 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期) 玉井牧子 (高28期)</p> <p>【財務幹事】 清水 昇 (高20期) 井崎克史 (高20期)</p> <p>【顧問】 橋本靖雄 (高3期)</p>	<p>【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期) 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)</p>	<p>【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 今中啓旦 太田正人 門田昌司</p> <p>【事務局】 川上貴司</p> <p>【会報編集】 中野元博 塚正泰之</p>
---	--	---



第5号

発行日 2009年6月1日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第5回 OB・OG会 総会 開催される



2008年7月5日 於 上六 高津ガーデン

本年(2009年)の感謝デーと総会は、7月4日(土)です

2008年 感謝デー・総会(第5回) スナップ写真集



母校グラウンドにて

乾杯!

女子ハンドボール 創部の思い出 !!!

5月9日、旬和席うおまん西梅田本店に、額田 晃作[高5期]、福家(旧姓:菊井)清美 [高9]、中江 義雄[高10]、柳(旧姓:浅野)朝子[高11]、中井(旧姓:井上)晴子[高11]の大先輩5名にお集まりいただき、女子ハンドボール創部の思い出を、川上 貴司[高19]、中野 元博[高26]、太田 寛人[高30] の3名で、お聞きしました。

川上「昨年、現役女子部が近畿大会に出場した際にその歴史を問われ、X'mas に創部の経緯について情報提供をお願いしたところ、辻本先輩から、1通のメールをいただきました。」
中野「そのメールをOBOG会報に載せようと思ひまして、ここに印刷してきました。」

高津高校ハンドボール部 御中 (2008/12/26)

- ・私は**昭和32年卒業の辻本陽之助**です。
- ・いつも会長の川上貴司様より、ハガキにて活動のご様子を伺っており、ありがたく、活躍ぶり、うれしく思っています。
- ・まずもって、この度、女子ハンドボール部がめでたく『第51回近畿高等学校ハンドボール選手権大会』への出場を勝ち取られたこと、誠におめでとうございます。
- ・このたびの出場は、女子ハンドボール部創設にかかわった私としては、喜び『一入(ひとしお)』の思ひであります。
- ・良い機会なので、事情を知る者として、その経緯を、以下、簡単に記させていただきます。
- ・**女子ハンドボール部の創設の経緯**は、私が男子ハンドボール部の Captain をしていた時、同じく同期の Manager をやっていた、すでに故人となってしまわれた**佐竹貞夫氏**と、確か高校2年生の終わり頃だったと思いますが、ともに **Captain & Manager** を務めるにあたって、『他の運動部は男女ともにあるのにハンドボールが男子だけではさびしいじゃないか!』、『ここは、部の顧問先生の**田中さや先生**に相談して、二人で何とか作ろうじゃないか!』ということで、先生のご賛同を得て、主として故佐竹氏が主導して、有志を募り始めた次第です。
- ・最初に基本 **Concept** を相談し、「健康で」、「明るくて」、「活発で」、「積極的で」、...、そして何より「美人」の人たちを誘おうということになり、まず、**福家清美**(旧姓:**菊井**)さんを誘い、福家さんが中心となって、続いて俊足の**高本登志子**(旧姓:**吉川**)さん、長身の**浅田幹子**(旧姓:**石丸**)さん、さらに続いて剛腕の**榊取恭子**(旧姓:**北島**)さんを誘い、初期の Member となっていたいただいた次第です。
- ・したがって創立に係る最大の功労者ということになると、残念ながら今は故人となってしまわれた佐竹貞夫氏ということになるかと思いますが、さらに続いて上記の福家清美(旧姓:菊井)さんを中心とする初期の創設 Member と言うことになります。
- ・そのようなわけで、部の創設時は男子の練習もさりながら、女子部員の勧誘が大きな関心事で、ともに、わくわくしたものですし、一方、男子のやる気も上昇し、肝心の試合成績も、なんと冬季大会では最高 **Best3** まで行くことができ、沢山の思い出を作ることができました。
- ・また、女子部創設初期には、男子部の大先輩、**額田晃作氏**のご指導も大きかったと記憶しております。
- ・そのようなわけで、今後一層のご活躍を祈念しております。
- ・歳の瀬にうれしい **News** をありがとうございます。皆様もどうか良いお年をお迎えください。

辻本陽之助(高9期)

中野「このメールに創部の中心とある福家様に、お話を伺いたいと思ひ、この会を企画致しました。」
福家「今、メールを拝見して、びっくりしています。」
太田「美人を面接したと書いてありますでしょ。かわいい子に声をかけたと辻本さんが言うておられますね。」



福家「私は佐竹さんに声をかけられました。学年で1番の**美人**、同級生の**吉川**(高本登志子)さんと**石丸**(浅田幹子)さんに、どなたに声をかけられたのと電話で聞きましたら、男性ではなく、**顧問の田中さや先生**からの返事でした。田中先生が、運動神経も良かったお二人を授業中に見て、誘われたようです。」

中江「みんな、美人やった！」
福家「北島(榊取恭子)さん、一年下の方、特に、芸術大学に入られた前川(野中寿々子)さん、美人でしたね。写真を持ってきたら、よかったですね！」
太田「高校5期の額田さんがコーチだったのですね。」
中江「山中さん(高6期)も、よく来られていましたね。」
太田「男子も女子も、昔は**OBがコーチ**されていましたから。」
福家「私たち、OBの方々は、仕事があるのかな?とっていました。」

中江「榎本さん(高7期)や、津田さん(高7期)、本当に入れ替わりで多数のOBが来てくれていました。」
福家「きつい練習を強いる先輩には、田中さや先生が私たちを呼び集めて、敵は本能寺にあるのだから、気を付けなさいって！」

中江「山中さんや額田先生は、そんなに無茶苦茶なことは、しなかったですね。」
額田「山中さんは、去年、亡くなられた。残念やったなあ。」
柳「創部の時に、話を戻しましょう。」
福家「結局、全クラブのキャプテンが集まる会議に出て『創部したい』という主旨を述べましたが、試合ができる11人以上の選手を集めないと認めないとか、予算が出ないとか言われました。その時、佐竹さんが答えて下さって、認められましたね。」

福家「ユニフォームも何もなくて、ボールだって男子のを貸してもらいました。女子と男子と、大きさ違いましたか？」
中江「それは、定かでないね。」
福家「**ボール**で悩んだことは無かったですね。男子のを借りて、コートも男子の練習を横に寄ってもらって、私たちも練習させてもらいました。」

太田「それが、**設立の瞬間**ですよね！」
福家「そお！そお！**キャプテン会議の時に、田中先生と3人で行きまして、認められた時**ですよ。私が高二になって直ぐでしたから、昭和30年の春のことでしょうか？」
柳「菊井(福家)さんの一つ上も、名簿に載っていますよ。」
福家「そうね！私の上に、三人、北野さん、徳美(箕浦)さんと、もう一人いらしてバスケットボール部から引き抜かれて来られました。バスケットは全国大会に出していたんですって！」
中江「その当時、バスケット、強かったあ！」

額田「ものすごく強かってん！」
太田「ええ！そうすると、一つ上は、まだ、認可されていなかったということですか？」
柳「いいえ。もう一人の伊藤(旧姓:藤原)さんにお聞きしたら、『私達は菊井(福家)さんらが中心になって初められた時に、一年上で一緒に入った』と言われていましたよ。その後で、辻本さんからのメールを見て、あ～！やっぱり！と思いました。」

福家「女子部ができ、山中さんがスローインを一人ずつさせて**ポジション**を全部、即、決められました。私には、キーパーしなさいと！」
福家「11人いなかったから、山中さん達が、バスケの方はたくさんいらしてコートで練習するにもいっぱい待ってはったのを見て、3人、引き抜かれて**11人集まった**んです。だから、

一年生が一人休んだら、試合ができないんです。」
福家「それでも、11人制と、7人制で試合を重ねて、強くなって、**ベスト4**になったんですよ。当時は同点になるとキャプテン同士がジャンケンして決めていましたね。」

額田「ジャンケンでベスト4？」
柳・中井「額田先生、私らも三位になったことあるんですよ。」
福家「すごいですよ。私たちもベスト4になっていますの！」
川上「強かったんですね！」
福家「いえ、いえ。ほんとはベスト16ぐらいの力だったんですけど。私、ジャンケンでいつも勝つんです。」
川上「その時の試合の点数は、何対何ぐらいですか？」
福家「0対0！」
川上「え！点が入らないの？」
福家「私、試合になったら、絶対、頑張りますから！試合前に相手チームの練習をよく見るんです。そこで選手の癖とか、あるでしょ。試合で、この人は、どこにくるか？一瞬で分かるんです。」

太田「福家さんがキーパーでしたね。」
福家「下手なんですけどね。」
太田「いやー、でも、今の子らにもそう言います。体が小さかったりしたら、やっぱり読みで勝負せなあかんと。」
福家「逆を見ながらシュートする人とか、試合前に相手の練習でシュートの癖を見てね... 出来立てはやほやのチームやからね、頭、使わんと！」
福家「**ユニフォーム**もありませんしね。みんなブルーのセーター持ってましたから、それを着て来なさいって。」
川上「セーター？」

福家「そう！それで、一応、ブルーのセーターで試合に出てましたら、男子が必ず応援に来てくれていました。」
中江「創部の時の部長は、田中さや先生でした？」
福家「そう。田中さや先生。ボーナスがすごく良かったですよ。試合が済んだら、全員にあん蜜をおごってくれました。ご馳走になって、わー！先生、すごとお給料やねって。」
中江「女子の職業としては、先生って、一番いいんとちゃう？絶対そうやと思う。」

額田「そりや、男女、給料、一緒やもん。」
川上「それは、そうと、中江さんは、よくもてはったんですよ。」
柳「中江先輩に憧れて入部する女子が多かったですよね。」
中井「中江先輩、格好良かったですからね。」
柳「ああ、そうだ！11人制から7人制へは、いつ変わったんですよ？」

福家「最初は、11人、屋外で。7人制は、後から室内で。両方やってましたよ。」
柳「ジャンプシュートはありましたか？」
福家「吉川さんは、7人制で**ジャンプシュート**されてました。」
額田「井上(中井)さんのジャンプシュート、ものすごい綺麗なフォームだったなあ。」

柳「そお、そお！」
額田「ジャンプした足の折れ具合、ほんと、絵にかけるよ。」
太田「是非、OG戦に出て下さい。」
井上「今はもう投げられませんが。まだ、走るだけなら、大丈夫ですけど。」
太田「福家さんらの年代のOGで、現役にお話を聞かせてやってください。」

中江「そらあ、この円満な家庭の大先輩にお話をしてもらったら、ええで！」
太田「昨年、柳さんがOG戦に出られたのが、現役にもものすごいインパクトを与えてます！」

柳「私、おっちょこちょいで、直ぐ調子に乗ってやってしまっ

て。」
太田「今度は、男性陣も呼んで来ていただきたいですね。」
川上「本日は、お集まりいただき、誠にありがとうございました。7月4日の感謝デーと総会・懇親会で、またお会いできますのを楽しみにしています。」

大阪府教育委員会賞！年間優秀選手！

昨年、「第51回近畿高等学校ハンドボール選手権大会」出場に貢献した**射手矢なづき**さんが、今春、卒業した61期生の中で「文武両道に秀で、他の範となる人物」と認められた者に贈られる、「平成20年度**大阪府教育委員会賞**」(全卒業生の中で一名)を受賞し、卒業式に先立って参加者全員の前で表彰されました。

射手矢さんは、二年生の秋「平成19年度大阪府高等学校**新人大会**」での活躍(**南ブロック大会優勝!**)が認められ、「南ブロック優秀選手」に選出されました(20年10~12月)。続く「平成19年度大阪府高体連ハンドボール専門部主管地区選抜対抗戦」に出場し、南ブロックチームの総合優勝に貢献しました(21年2月)。三年生になって「平成20年度**インターハイ大阪府予選大会**」(20年4~6月)の上位5校に勝ち残って、本校**女子ハンドボール部創部以来、初の近畿大会出場**を果たしました。

「近畿高等学校ハンドボール選手権大会(**近畿ベスト16**に進出)」(20年7月末)、夏の「大阪府高校**秋季総合体育大会**(**またも南ブロック大会優勝!**)」(20年8月)での活躍は、めざましく、大阪府下12名のみが選出される「大阪府高体連ハンドボール専門部 **平成20年度優秀選手**(女子の部)」に選出されて、専門委員長より表彰状および記念品を授与されました。
射手矢さんの活躍と今回の受賞を、是非、会報に掲載したいと考え、原稿執筆を依頼しましたところ、次のメールが届きました。

61期生の**射手矢なづき**です！ (2009/3/12)

昨年の年間優秀選手に選んでいただきました。こんな賞をいただけたのは本当にみなさんのおかげだと思っております。いつも試合の応援にかけつけてくださり、後輩たちと一緒に応援していただき、本当に力になりました。1年生の時から目標にしていた**近畿大会にも出場**することができ、本当に**いい経験**になりました。

OB・OG戦ではパワフルなプレーでいつも驚かされ、「私たちもまだまだ頑張らないと」励まされていました。その他にも合宿や用具などの援助もしていただき、本当に、部員一同感謝しております。この高校生活は、ほとんどハンドボールづけでしたが、みんなで汗や泥まみれになりながら頑張ったことは、一生の宝物です。

私はもう今年で卒業し、次は援助していく側になるのですが、**後輩達はまだまだ頑張っております**のでこれからも男女共々高津高校ハンドボール部をよろしく**お願いいたします** m(_)_m あっ! 最後に報告です!!!

この度無事**大阪教育大に合格**しましたあー＼(^o^)/バチバチ。大阪教育大はハンドボール全国ベスト4に入るほどの強豪校ですが今までやってきたことをいかして、私はハンドボールを続けていこうと思っております。監督も太田先生の先輩ということなので、なにかの縁と思ひ、頑張りたいと思ひます。応援よろしくお祈いします(^o^)

射手矢なづき(高61期)

射手矢さん、大阪教育大学、合格、おめでとう!!
前校長 **田中保和先生**(現:大阪府教育委員会 教育監)が、『本当に素晴らしい生徒さんで**高津の誇り**です。』と**お誉め**の言葉を述べられたとお祈、「文武両道」で頑張られたご褒美でしょう。今後の大学リーグでの活躍が、誠に楽しみです!
また、クラス担任とクラブの顧問として、太田先生のご指導の賜物だと思います。

将来、是非、母校の教員となって、後輩を指導してください。

(編集:中野元博[高26期])